

(別紙様式) 令和4年度 1人1台端末の活用による実践事例

学校名		岡山県立津山工業高等学校		
実践者等		中山 駿一	実践日	令和4年6月29日
実践場面 <small>(教科・科目(単元名)、学校行事等)</small>		建築科・工業技術基礎(木材加工)		
対象生徒(学年等)		建築科1年生		
育成を目指す資質・能力		<input checked="" type="checkbox"/> 知識・技能 <input type="checkbox"/> 思考力・判断力・表現力等 <input type="checkbox"/> 学びに向かう力・人間性等		
分類	授業中	<input type="checkbox"/> クラウドやアプリの活用 <input type="checkbox"/> デジタルデータの保存 <input type="checkbox"/> 思考やデータの可視化 <input checked="" type="checkbox"/> データの共有や共同編集 <input type="checkbox"/> 対話を充実させる活用 <input checked="" type="checkbox"/> 思考を促す活用 <input type="checkbox"/> 表現を充実させる活用 <input type="checkbox"/> 課題のやり取りと評価の支援 <input type="checkbox"/> 効率化や省力化 <input type="checkbox"/> その他()		
	家庭学習	<input checked="" type="checkbox"/> 振り返り <input type="checkbox"/> 探究 <input type="checkbox"/> 反転学習 <input type="checkbox"/> 補習・定着		
実践の内容				
<p>【授業】</p> <p>1 概要説明 本授業では、様々な木工機械や手工具を使用して、木材を加工し作品を制作する授業である。他県では死亡事故などが起き危険性が高い授業であるため、大きな事故や怪我をさせないための安全教育の場面で、Chromebook を用いて授業を行った。</p> <p>2 授業展開 (1) 安全教育をパワーポイントを用いて、説明する。 (2) 学習した安全教育を活かし、生徒に Jamboard の危険性がある場面を見せ、危険予知 (KY 活動) をして、Jamboard の付箋で各班ごとに発表をしてもらう。 (3) 危険予知の共通理解を深めるため、答え合わせを行う。</p> <p>2 ICT を活用した際に感じたメリット ・パワーポイントで学んだ、安全教育を活かし Jamboard で危険予知することで、<u>より理解できる。</u> ・Jamboard で発表することにより、<u>発言しにくい生徒でも意見を出しやすくなる。</u> ・生徒の Chromebook と黒板の板書と前に映し出しているパワーポイントの3つを使用することにより、<u>解説がしやすくなる。</u> ・後部座席の生徒に対しても均一な授業環境を提供できる。 ・安全教育の資料などを Classroom で配信することにより、<u>家庭学習用教材としても使用できる。</u> ・最初の授業準備をしっかりと行うと、<u>2回目以降の授業準備が短縮できる。</u></p> <p>3 ICT を活用した際に感じたデメリット ・最初の授業準備の時間がかかる。</p>				
<p>【本時と家庭学習との連動】</p> <p>(本時前) Classroom への参加と各アプリの環境を整備させる。</p> <p>(本時後) Classroom を通じてレポートを提出させることにより、家庭学習を行う。</p>				

実践の様子が分かる写真等を適宜入れてください。(肖像権の確認等は各校で行った上で提出してください。)